

対象学年: 第1学年以上

領域・単元等 「文章を要約し、自分の考えを持つ」

1. 作成の趣旨

全国学力・学習状況調査で継続的な課題である「読むこと」の精査・解釈についての学習で、身近な資料を使って他者に伝えるために要約する問題を作成しました。「目的や意図に応じて、必要な情報に着目して要約する力」を身に付けることをねらいとしています。

【関連する学習指導要領の内容】

- 単語の類別について理解するとともに、指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めること。1年[知識及び技能](2)エ
- 目的に応じて必要な情報に着目して要約したり、場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈すること。1年[思考力、判断力、表現力等]「C読むこと」ウ

2. 活用場面等(例)

例1【授業の中で】

東京書籍1年:「私のタンポポ研究」(9月)

光村図書1年:「不便の価値を見つめなおす」(12月)

・要約のポイントを振り返ったり、目的や相手に応じた要約になっているかを検討したりする場を設定しましょう。

例2【単元前のレディネステストとして】

東京書籍2年:「鯉節」(12月) 東京書籍3年:「幸福について」(12月)

光村図書2年:「君は「最後の晩餐」を知っているか」「最後の晩餐」の新しさ」(12月)

光村図書3年:「人工知能との未来」「人間と人工知能と創造性」(10月)

⇒ 活用後について

・目的や相手を明確にして、実生活の中にある文章や各教科等で学習した文章の内容を要約して伝える活動を設定しましょう。

3. 目的に応じて必要な情報に着目して要約する授業の充実に向けて

- 説明的な文章や実用的文章を読んで何を誰に伝えるか目的を決めて、要約に取り組む言語活動を設定しましょう。要約したものが目的に沿っているかどうか、グループで検討する場を設定しましょう。



要約の目的は「○○」だね。



目的を踏まえて、伝えたいことに関する中心語や中心文を探しましょう。

要約の「目的」が○○だから、関係のない部分は除くといいね。

小見出しや繰り返し出てくる言葉に着目すると、中心語(キーワード)や中心文が分かるよ。